

テーマ 農商工連携・6次産業化

うなぎいもが地域活性化の切り札に！

うなぎいも協同組合

「うなぎいも」ブランドによる地域の活性化を通じて、栽培、加工、販売といった事業活動を一貫して担える組合組織を設立し、農業生産者の所得向上を目指す。

背景と目的

当初は任意団体である「うなぎいもプロジェクト」としてスタートし、徐々に生産者を増やしていった。うなぎいもの産出にあたり生産者間での作物の品質にばらつきが出てきたことを契機に「うなぎいも」の品質を安定化させることと、個々の生産者のコスト負担を緩和することを目指し組合は設立された。当組合の最終的な目的としては農業生産者の所得向上を図ることである。

事業・活動の内容

29の異業種企業や農家などが組合員として参加している。具体的な活動としては、いものサイズや品質の仕分け作業、洗浄や根切りといった加工処理を当組合が一括して行うとともに、収穫かごといった資材や肥料、そして生産物に付いた土を落とす機械も共同購入して組合全体で使用できるようにしており、各組合員の生産コストを抑えている。うなぎいもをベースとした製品を食品加工業者や和洋菓子店に卸しており、様々な商品として販売されるようになった。このように加工から販売、宣伝、検査、ブランド管理などを共同で取り組むことにより、組合としての一体感を醸成している。

成果・効果

こうした一連の取組みにより、作業効率の向上が図られ、品質も向上した。その結果、今年度の収穫量

目標は200トン掲げてきたが、実際には250トンと当初の目標を上回るこことが予想され、単位面積あたりの収穫が大幅に上回る状況となっている。「うなぎいも」の認知度も徐々に上がってきており、加工業者からの引合いも増えてきて、様々な食品に活用されるケースが出てきている。当組合の事業は、生産から販売まで多くの関係者を巻き込む活動となっており、「6次産業化」の好例として位置付けることができる。今後は浜松市近辺だけでなく、首都圏を中心とした他地域への販路拡大も計画されており、ますます組合の位置づけが重要となってくる。



“うなぎいも”とは…

浜名湖のうなぎを肥料にして
養分に育てられた、



栄養たっぷり、糖度抜群の
濃厚な さつまいも のことです。

うなぎいも協同組合

住所：〒435-0034
静岡県浜松市南区安松町66-9
設立：平成25年4月
出資金：1,240千円
電話：053-464-5234
URL：http://www.unagiimo.com/
業種：耕種農業他
組合員：29人
組合専従者：－